

支部長からのご挨拶

日本生化学会中部支部の皆様におかれましては、ご研究のご発展をお慶び申し上げます。また平素より中部支部会員として支部を支えてくださり感謝いたします。私は今年度、前中部支部長である静岡県立大学薬学部・奥 直人先生の後を継いで支部長を担当させて頂くこととなりました。中部支部の最大イベントである中部支部例会は、本年で第76回目を迎えます。

本年の日本生化学会中部支部例会・シンポジウムは平成24年5月26日(土)に自然科学研究機構・岡崎コンファレンスセンター(愛知県岡崎市)での開催を予定しています。本支部例会には、毎年多くの大学院生や若手研究者が集い、活発な情報交換が行われます。恒例の1分間口頭発表は毎年、大変な盛り上がりを見せておりますので、今年も行う予定です。本年のシンポジウムでは、生化学の基盤となる研究分野の1つである“タンパク質の翻訳後修飾の役割”をテーマとして、ご活躍されている著名な先生方に最新の情報を提供して頂くことを考えました。シンポジストとしては、木下タロウ先生(大阪大学)、瀬藤光利先生(浜松医科大学)、田中啓二先生(東京都医学総合研究所)、深水昭吉先生(筑波大学)を予定しています。

一般演題の募集締切は4月20日(金)です。詳細についてはポスターをご覧いただければと思います。皆様の積極的なご参加(日本生化学会のご援助により参加費無料)をお願い申し上げます。

平成24年度 日本生化学会中部支部長
自然科学研究機構 生理学研究所 池中 一裕

日本生化学会中部支部事務局：
〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山5-1
自然科学研究機構 生理学研究所 分子神経生理研究部門
担当：吉村 武
TEL：0564-59-5249
Fax：0564-59-5247
E-mail：seika@nips.ac.jp